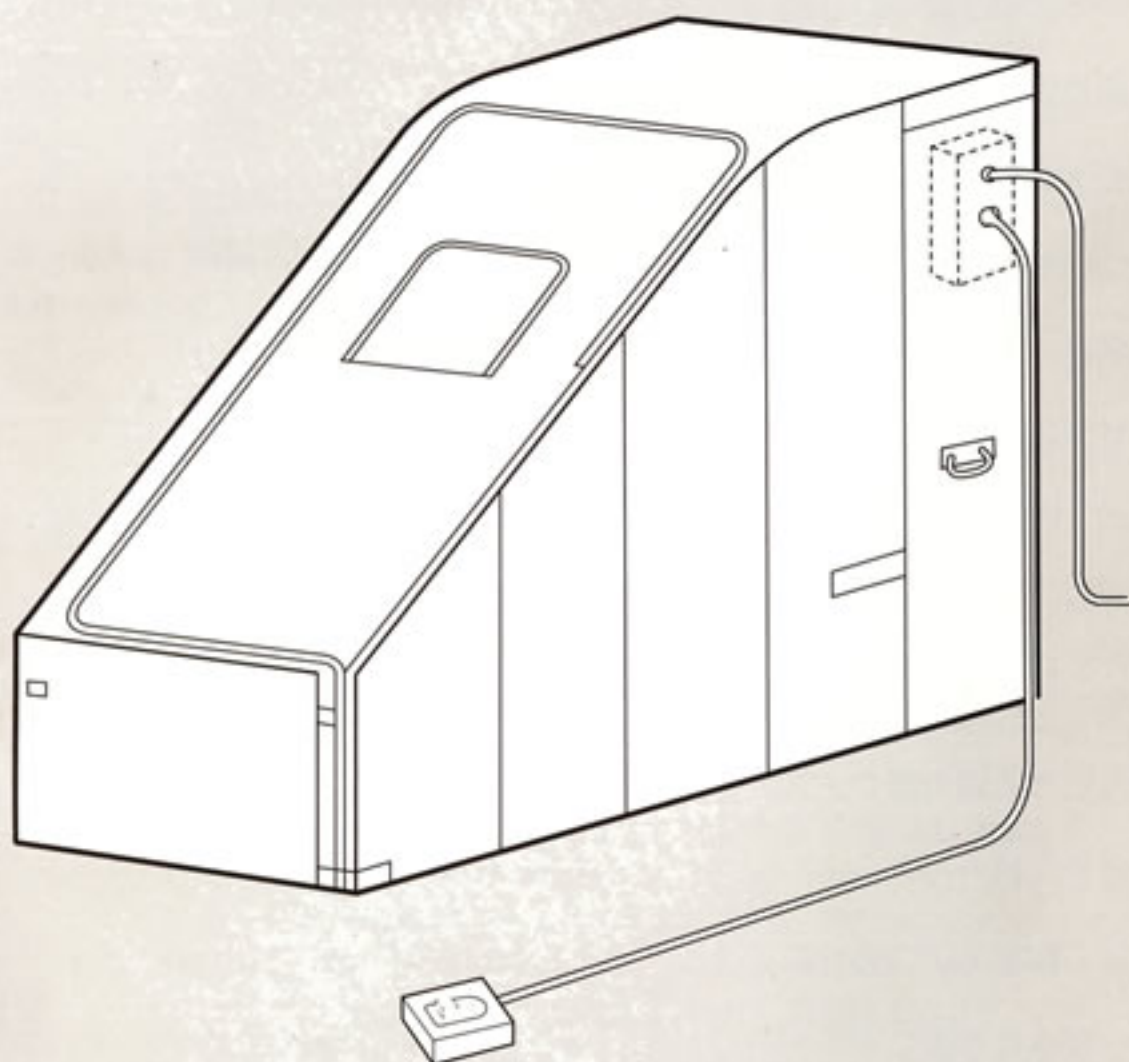


遠赤外線健康器

サンエッセンス

SE2000

取扱説明書



ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上
正しくお使い下さい。
又本書は大切に保管して下さい。

保証書は後日郵送にて送られてきます。



目 次

	ページ
安全にお使い頂く為に	2
電源コードとプラグの取り扱いについて	3
本機の取り扱いについて	4
ご使用の注意	5
入浴について	6
各部の名称	7
組み立て方法	8
コントローラーの働き	9 ~10
コントローラーの操作方法	11~12
手元リモートスイッチについて	13
寝姿勢入浴する時の扉ファスナーの開閉は	14
日常のお手入れ	14
本体と床・背板スノコの分割方法とジョイント方法	15~16
修理を依頼される前に	17~18
室内灯電球のチェック及び交換	18
本機の運搬について	19
サンエッセンス浴について	20
発汗浴について	21
保証とアフターサービスについて	22




安全にお使い頂く為に

- この度はサンエッセンスSE2000をお買い求め頂き有り難う御座いました。
- 正しく安全にご使用頂く為に、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。
- 下記に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などに結び付く可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 商品の段ボールは保管しておきますと引っ越しや修理などで輸送の時の為に役立ちますので保管する様にして下さい。

電源コードとプラグの取り扱いについて

<p>200ボルトのコンセントは使用しない</p>  <p>交流100ボルトのコンセントを使用してください。200ボルトのコンセントは使用しないでください。(火災・感電の原因になります。)</p>	<p>電源プラグは確実に差し込む</p>  <p>プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。(火災・感電の原因になります。)</p>	<p>コンセントから単独で使用する</p>  <p>(火災・感電の原因になります。)</p>
<p>延長コードは必ず15A以上のものを使用してください</p>  <p>タコ足配線はしないでください</p>  <p>(火災・感電の原因になります。)</p>	<p>電源コードを傷めない、破損させない</p>  <p>コードを引っ張ったり、重いものを載せたり強く曲げたりしないでください。(火災・感電の原因になります。)</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</p>  <p>感電の原因になります。</p>
<p>電源プラグのお手入れを</p>  <p>ときどきはプラグを抜き、ほこり(および金属物)を除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になります。(火災の原因になります。)</p>	<p>煙が出たり、変なにおいがするときは電源プラグを抜く</p>  <p>火災などの事故の原因となります。 ・お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。</p>	<p>長期間使用しないときは電源プラグを抜く</p>  <p>長期間使用しないときは、プラグを抜いてください。(火災・予想しない事故の原因になります。)</p>

本機の取り扱いについて

本機の移動は必ず把手を持って下さい

注意

把手



本機を不安定な場所に設置しないで下さい

注意

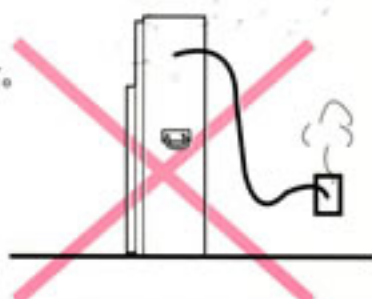
直射日光の当たる場所や、浴室や風雨にさらされる場所など湿気やほこりの多い場所、熱器具の近くには据え付けしないでください。感電や漏電による火災の恐れがあります。



電源スイッチを入れたまま折り畳んだり、折り畳んだまま電源スイッチを入れる事は禁止します。

禁止

火災の原因となります。

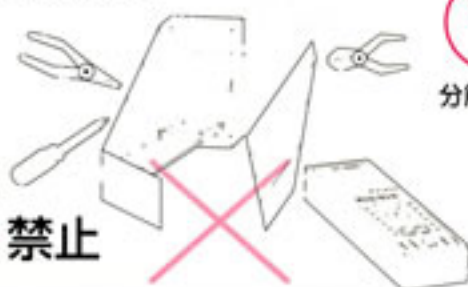


本機の分解・修理・改造は絶対行わないで下さい。特にコントロールボックスは絶対開けないで下さい。発火したり、異常動作して事故を起こす恐れがあります

禁止

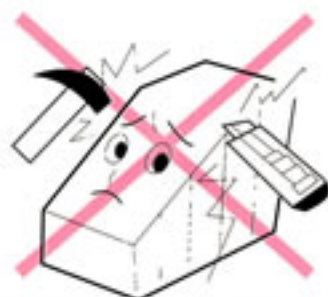
分解禁止

禁止



本機（特にコントロールボックス、ヒーター部）に強い衝撃を与えないで下さい。又傷つく様な突起物を接触しないで下さい。火災の原因となります。

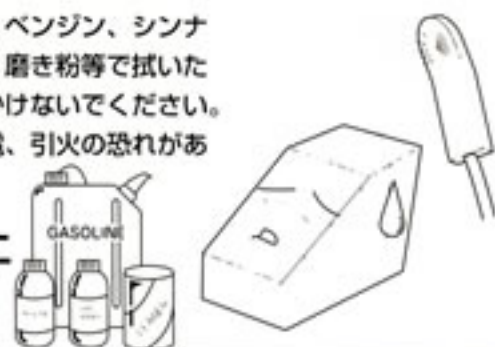
禁止



水等をかけないでください。感電や火災の原因となります。

水をかけたり、ベンジン、シンナー、ガソリン、磨き粉等で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。ひび割れ、感電、引火の恐れがあります。

禁止



本器での衣料の乾燥、食品その他の保温等、入浴以外の用途へのご使用は禁止します。火災の原因となります。

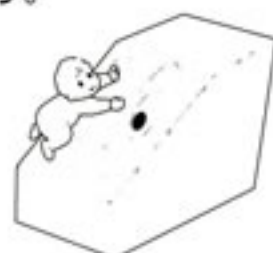


衣類・布団等

禁止

お子さまだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。また、本体に乗ったり、傾けたりしないでください。又、本器にたばこ等の火気を近付けしないでください。火災の原因となります。

禁止



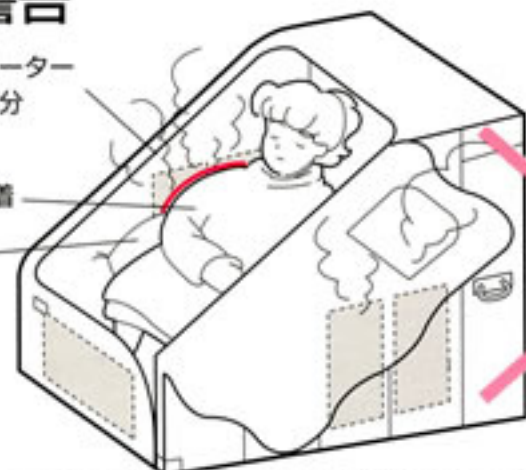
ご使用の注意

側面ヒーター部分に布地などを接触し続けたい！

側面ヒーター部分に衣服や座布団・タオルなどを接触し続けると異常加熱し接触部分の布地が変色し、火災の原因となります。

警告

側面ヒーター
内蔵部分
厚着
座布団



警告

タオル・毛布

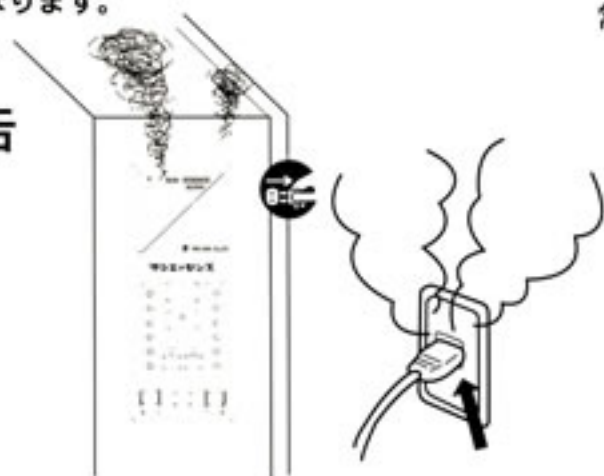


厚着して入りますと遠赤外線への放射効率が低下するだけでなく、側面のヒーター部に衣類が接触し続ける可能性があり、危険ですので、服を着ての入浴の場合は薄着にして入浴して下さい。

煙や変な臭いがする時は直ちに電源を切ってください。異常状態のまま使用すると感電や火災の原因になります。

電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源スイッチを切ってください。電源スイッチを切らないで行うと内蔵されているコンピュータの異常の発生原因になります。

警告



まずスイッチ
を切ってから

禁止

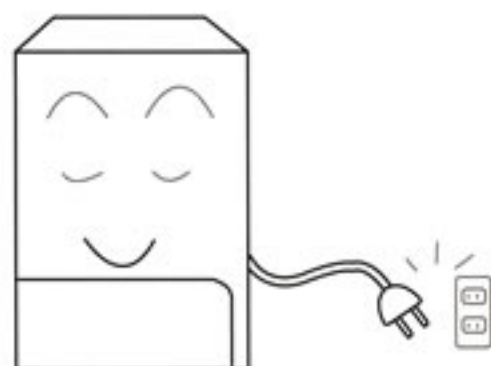
折り畳んだままにする時は必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。

本器をお手入れする時は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



禁止

本器は、日本国内で使用する様設計されていますので電圧その他が異なる海外でのご使用は禁止します。



入浴について

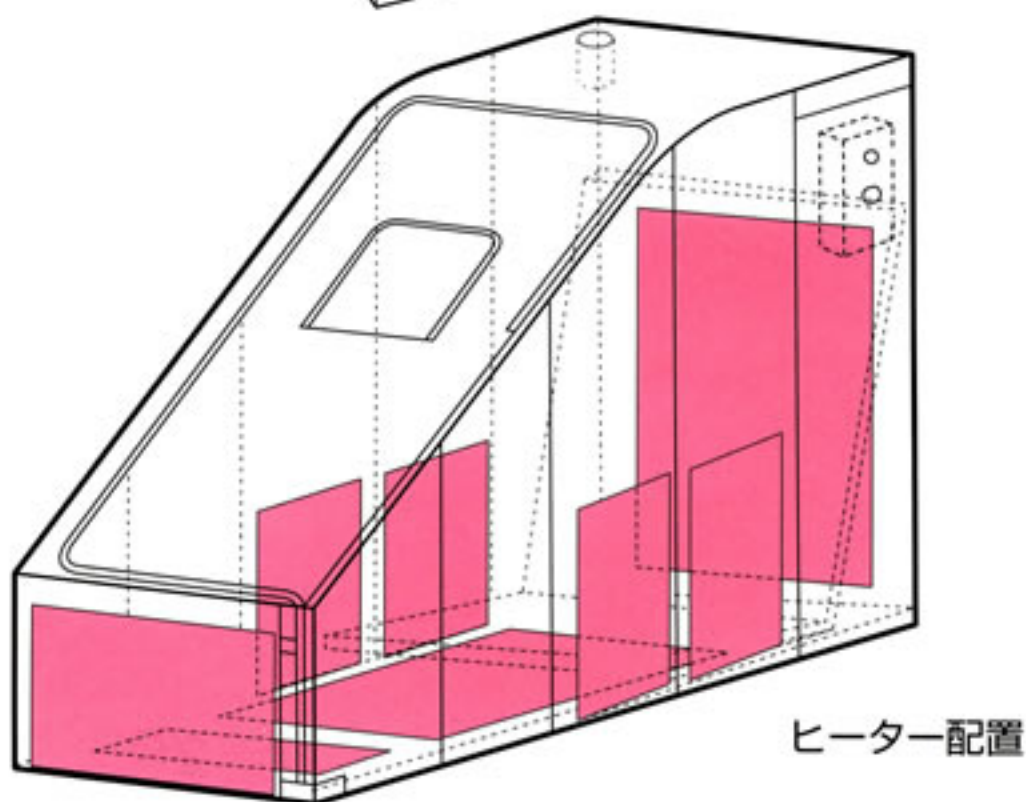
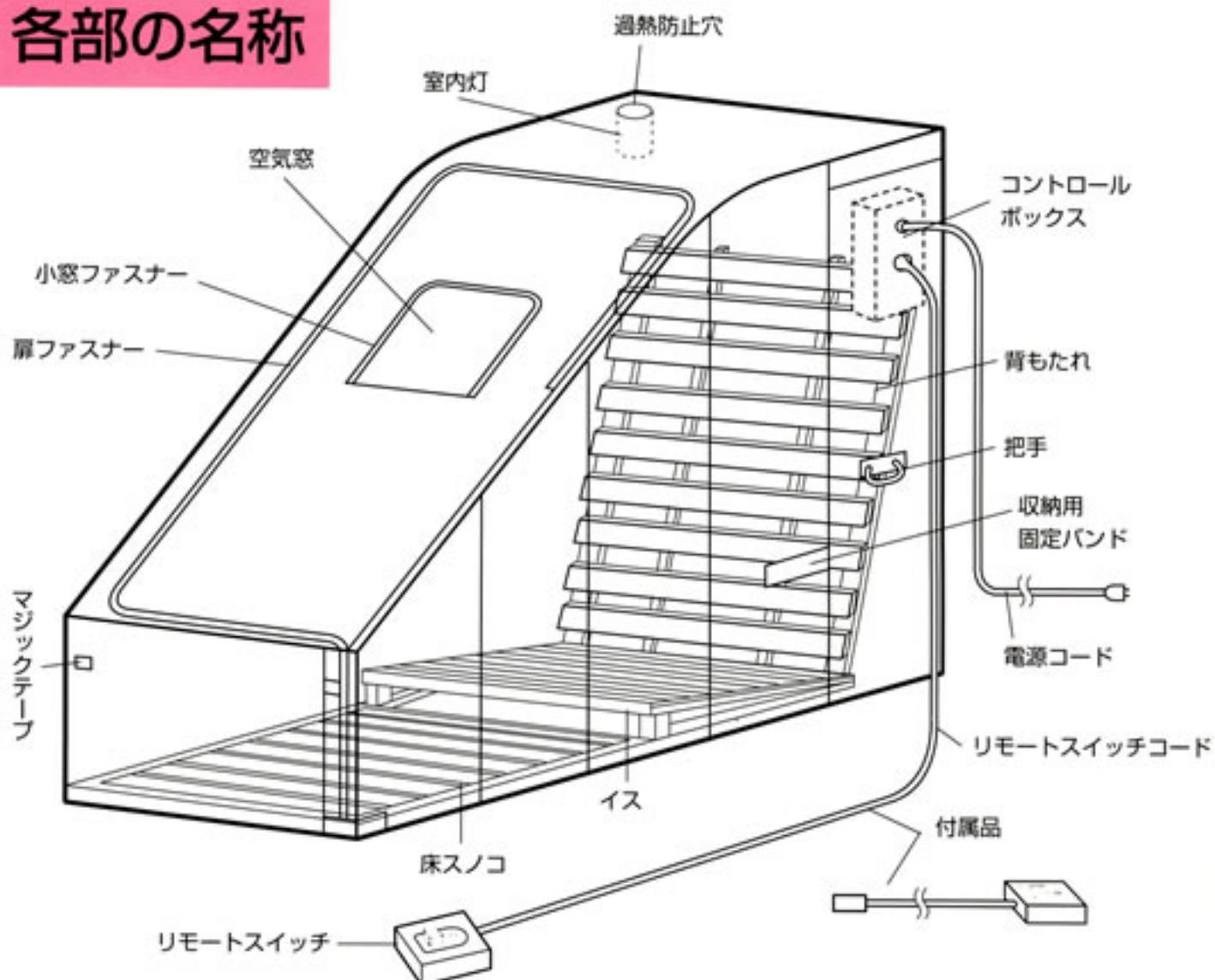
警 告

1. 入浴前に体調に異常を感じたときは、入浴しないでください。
入浴中に気分が悪くなったり、体調に異常を感じた時は、直ちに入浴を中止してください。
2. 重度の高血圧症、心臓病、貧血、腎臓や肝臓障害や重度の慢性疾患、重度の病気の方、重度の精神障害などの方は専門医の指導によりご使用ください。
3. 妊娠中の方は本機に全身を入れての入浴方法は止めて足だけ入れる入浴法にするか専門医に相談して下さい。
4. 運動や重労働で疲れた直後や飲酒後又食後1時間以内の発汗浴は禁止します。
又極度の空腹時の発汗浴も禁止します。
5. お子様の入浴は保護者の監視の元で行ってください。
6. お年寄りや身体の不自由な方は、介護人の元で入浴して下さい。
7. 初めてご使用になる方は時間は短めで低温から入浴し、段々と慣れてから体調に合わせ時間と温度を調節する様にして下さい。
8. 本機内での喫煙は禁止します。(火災の原因になります。)

注 意

1. 内部の布壁面（側面と前面）のヒーター部には、直接身体を接触させないで下さい。低温やけどの原因となります。
2. 発汗浴では時計や貴金属類を身につけたり持ち込まないで下さい。破損等の恐れがあります。

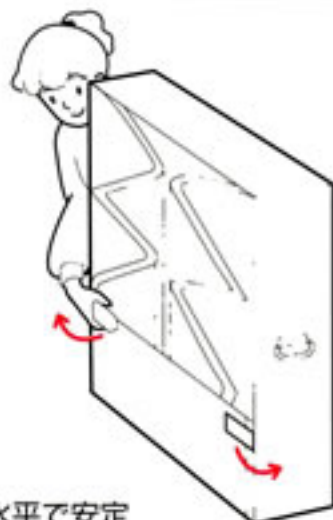
各部の名称



組み立て方法

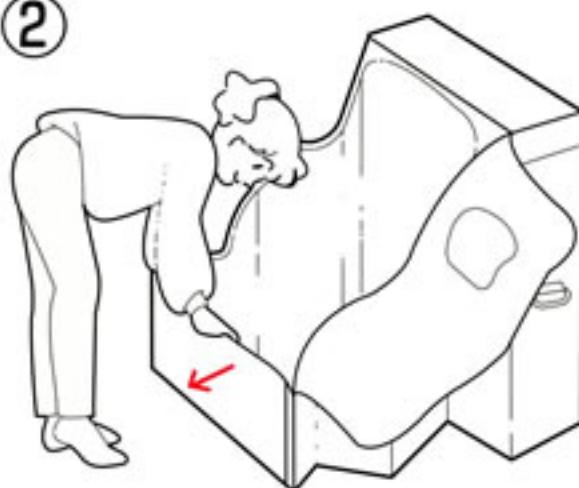
開梱後の商品の移動は必ず把手を持って行って下さい。

①



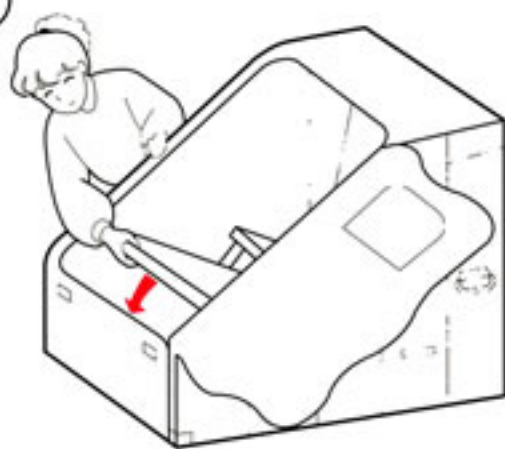
設置場所が水平で安定している事を確認して下さい。
左右の固定バンドをはずして下さい。

②



扉ファスナーを開けて
本体を矢印方向へいっぱいまで広げます。

③



床板を手前に引き出し床へびったり下ろします。
(ボタンと落とさないで下さい。)

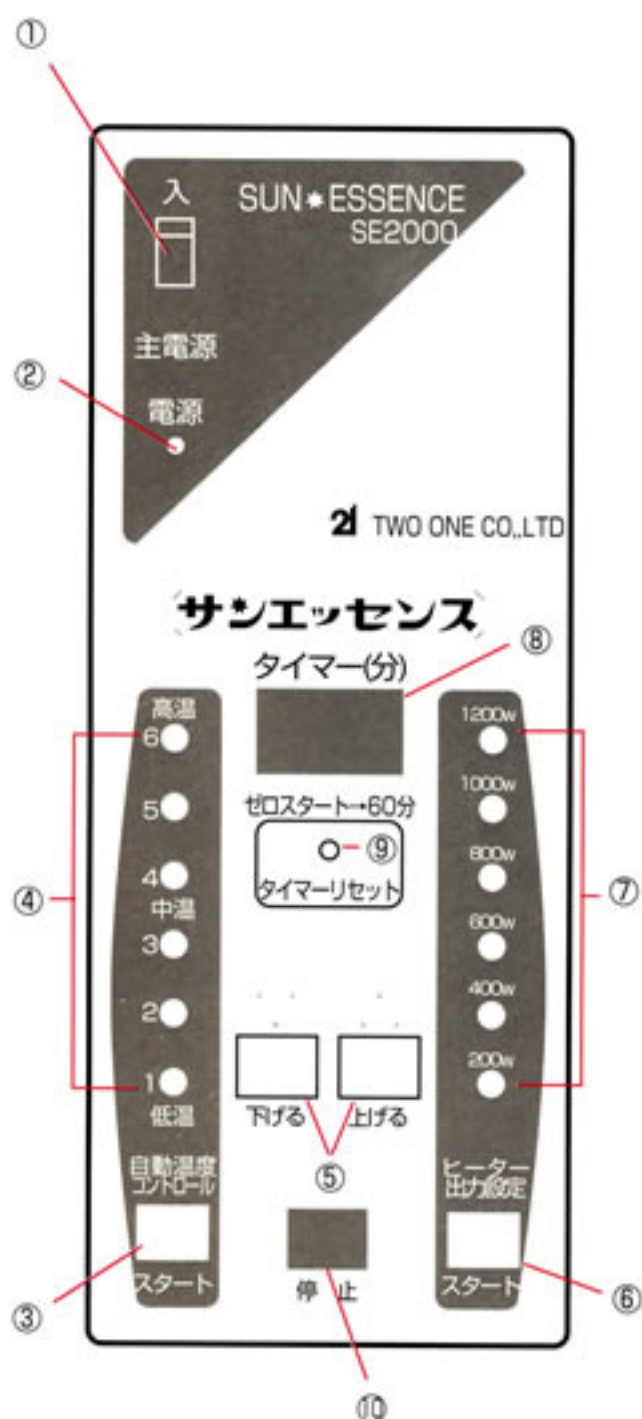
④



ファスナーを閉めて完了です。
(ファスナーを無理に強く引っ張らないで下さい。)

⚠️ 注意 折りたたんだままでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
折りたたむ時は主電源スイッチを必ず切ってから行って下さい。

コントローラーの働き



① 主電源スイッチ (漏電ブレーカー)

万一漏電や過負荷の異常が発生した場合自動的にスイッチが切れます。

② 主電源表示ランプ

主電源スイッチを「入」にしますとグリーン色のランプが点灯します。
(但し主電源スイッチを「入」にしても自動温度コントロールのスタートボタンか、ヒーター出力設定のスタートボタンを押さないと室内灯とヒーターへは通電しません。)

③ 自動温度コントロール・スタートボタン

室内温度を約40℃～約65℃までの6段階を自動制御にて温度コントロールします。
(設定温度に達する迄はヒーターはフルパワーで、設定温度に到達するとヒーター出力を、200W～1200Wの6段階を自動設定し設定温度を一定にする様働きます。)

④ 温度表示ランプ

高温 (赤色ランプ)	6	約65℃
(赤色ランプ)	5	約60℃
中温 (オレンジランプ)	4	約55℃
(オレンジランプ)	3	約50℃
低温 (グリーンランプ)	2	約45℃
(グリーンランプ)	1	約40℃

※上記温度は季節や外気温度等の環境によって異なりますので、あくまでも参考値です。
好みの温度を設定しますと、その温度の表示ランプが点滅します。室内温度が上がると、温度が到達した表示ランプから順番に点灯し、やがて設定中の点滅しているランプに達すると点灯に変わります。

⑤ 上げ下げボタン

自動温度コントロールの温度と、ヒーター出力の設定を上げ下げします。

- ⑥ **ヒーター出力設定・スタートボタン** (室内温度と関係無くヒーター出力を一定にしたまま運転したい時利用)
 このボタンを押すと④の温度表示のランプは消え、⑦のヒーター出力表示ランプの中で現在設定されている出力のランプが点灯します。
 ⑤の上げ下げボタンによってヒーター出力を200W～1200Wまで6段階を好みによって設定する事が出来ます。

⑦ **ヒーター出力表示ランプ**

グリーンランプ		オレンジランプ		赤色ランプ	
200W	400W	600W	800W	1000W	1200W

現在設定している出力を点灯して表示します。
 (但し自動温度コントロールで制御中はヒーター出力表示ランプは点灯しません。)

⑧ **タイマー表示 (60分)**

1分ごとの経過時間を表示します。
 自動温度コントロール・スタートボタン又はヒーター出力設定ボタンを押して室内灯・ヒーターが通電してからの経過時間を表示します。
 60分経過直前に電子音が鳴りタイマーが切れることを知らせます。
 タイマーが切れると室内灯・ヒーター通電が切れます。

※異常が起きた場合は、タイマー表示に下記の記号と数字が表示されます。

E2と表示された時	コントローラー部分が一定温度を超え熱くなり過ぎた時で安全の為、ヒーターと室内灯が切れ停止状態となります。
E3と表示された時	室内温度が一定温度を超え熱くなり過ぎた時で、安全の為、ヒーターと室内灯が切れ停止状態となります。

E2とE3と表示された場合は、室内温度が少し下がってから、ヒーター出力・温度を低めに設定するか、ファスナーを少し開けてスタートボタンを押せば通常運転に戻ります。
 (故障ではありません。)

E1と表示された時は故障を意味し修理が必要となります。

⑨ **タイマーリセットボタン**

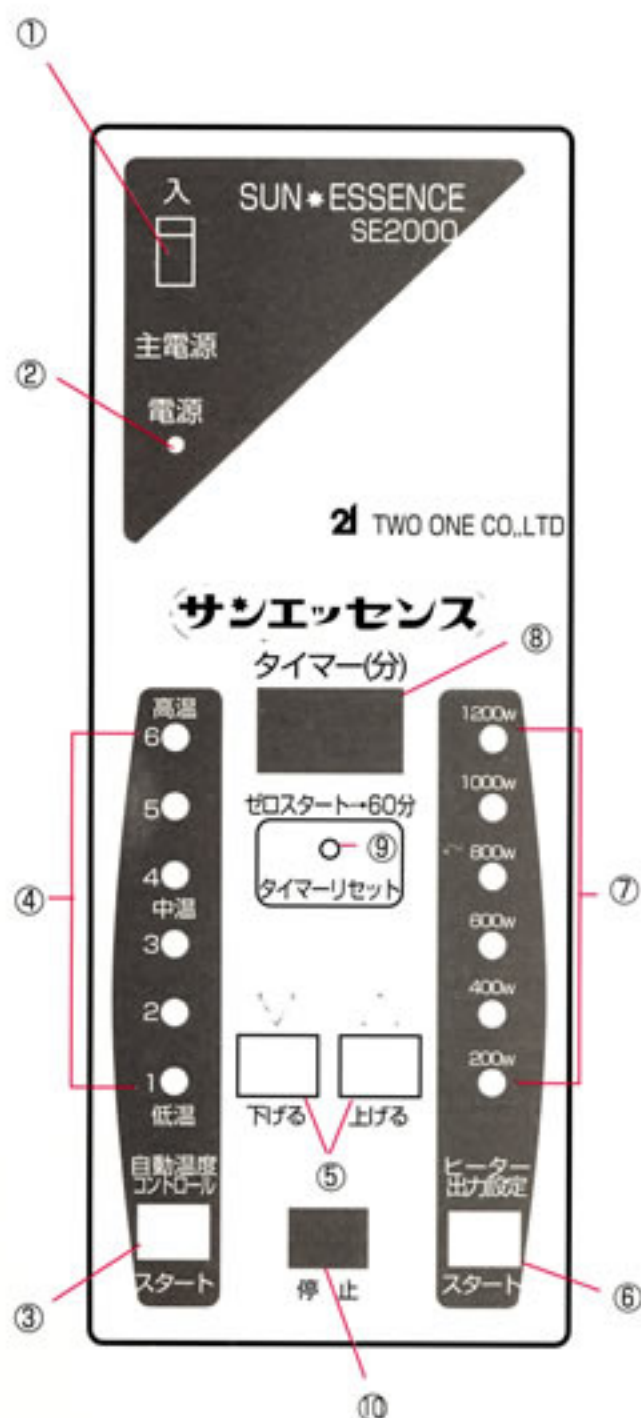
タイマーをゼロから再スタートしたい時に押します。

⑩ **停止ボタン (途中で入浴を止める時)**

押すと室内灯・ヒーターの通電が切れます。
 主電源だけが「入」の操作待ちの状態となります。

コントローラーの操作方法

自動温度コントロールで使用する時の操作



〔1〕主電源スイッチを入れます。

①の主電源スイッチを入れると②のグリーンランプが点灯します。

(室内灯とヒーターには通電しません。)



〔2〕自動温度コントロール・スタートボタンを押す (室内灯とヒーターが通電する。)

④の温度表示ランプの中で設定中のランプが点滅を始め、タイマーがスタートします。

④の温度表示ランプの中で設定中のランプが点滅を始め、タイマーがスタートします。



〔3〕上げ下げボタンを操作

⑤の上げ下げボタンを押して設定したい温度の表示ランプが点滅する様操作します。

※通常サンエッセンス浴 (服を着たまま、汗をかかない入浴) は低温から中温にし、発汗浴は中温から高温を目安にして下さい。



〔4〕ファスナーを閉めての予熱

●服を着たまま、汗をかかない様にして入るサンエッセンス浴はヒーターを通電し扉ファスナーを閉めてから約5～10分程度を目安にして入浴して下さい。

(冬場で環境温度が低い場合は約15分程度を予熱の目安にして下さい。)

●発汗浴は扉ファスナーを閉めて約15～20分程度予熱する事を目安にして下さい。

(冬場で環境温度が低い場合は約20～25分程度を予熱の目安にして下さい。)

※環境温度が10℃以下など低い場合は予熱時間も長くなります。

又、温度表示ランプの点灯も遅くなります。ファスナーを開けた状態のままですと室内温度が上がらず、ランプが点灯しない場合があります。

(5) 入浴中の温度設定の変更

入浴中もっと温度を高くしたい時や、もっと温度を低くしたい時は⑤の上げ下げボタンを押して途中の切り替えは可能です。室内温度の調節は扉ファスナーや小窓ファスナーの開閉量を調節し外気の取り入れをうまく併用することでさらに快適入浴できます。

(6) 入浴時間

入浴時間はサンエッセンス浴か、発汗浴かその入浴目的と体調に合わせて入るようにして下さい。詳しくは20、21ページをお読み下さい。

(7) タイマーによる停止

60分経過しますと電子音が鳴り室内灯が消えヒーターの通電も切れます。(主電源だけが「入」の操作待ちの状態となります。)

(8) 手動による停止

途中で入浴を止める時は⑩の停止ボタンを押します。室内灯が消えヒーターの通電も切れます。(主電源だけが「入」の操作待ちの状態となります。)

(9) 主電源スイッチを「切」にします。

①の主電源スイッチを切ると、②の電源ランプが消え各ボタンの操作は不可の状態となります。

ヒーター出力設定で使用する時の操作

(1) ⑤の主電源スイッチを入れます。



(2) ⑥のヒーター出力設定スタートボタンを押す。

室内灯とヒーターが通電し⑦のヒーター出力表示ランプの中で現在設定されている出力のランプが点灯しタイマーがスタートします。



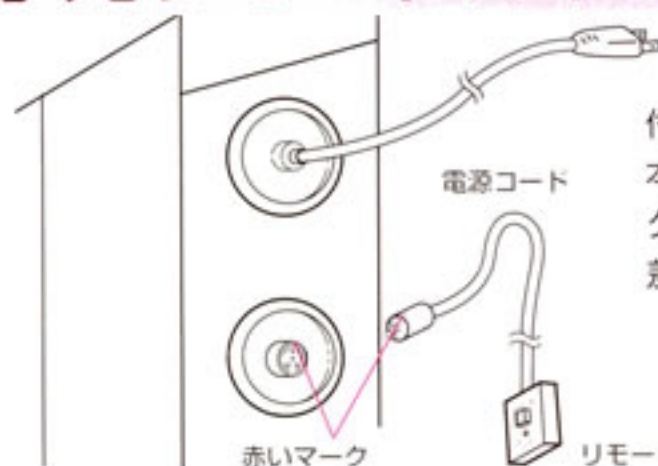
(3) 上げ下げボタンを操作

⑤の上げ下げボタンを押して設定したいヒーター出力の表示ランプが点灯する様操作します。始めの予熱は1200Wにし、予熱後入浴する時に⑤の上げ下げボタンで好みの出力に設定します。

※通常サンエッセンス浴は400W～800W位を目安とし、発汗浴は600W～1200W位を目安としますが、季節や体調又ファスナーの開閉量によって出力を調節して下さい。
詳しくは20、21ページをお読み下さい。

タイマーによる停止、主電源スイッチ「切」は自動温度コントロールで説明した (7) (8) (9)と同じ操作です。

手元リモートスイッチのコード接続



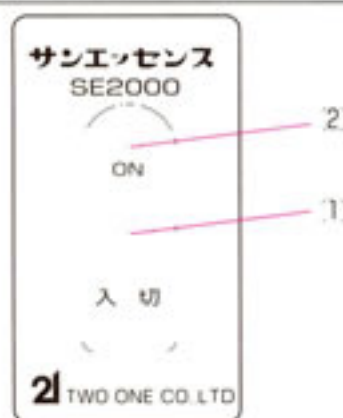
付属品の手元リモートスイッチのコードを本体の差し込み口へ接続します。赤いマークの位置を合わせる様にして、しっかりと差し込んで下さい。

△注意 きちんと奥迄差し込まれているか確認して下さい。

手元リモートスイッチの操作方法

手元リモートスイッチが操作可能な条件は

- 電源プラグが差し込んであること。
- 主電源スイッチが「入」になってグリーン色の電源表示ランプが点灯していること。



(1) 室内灯とヒーターが通電されていない停止状態から運転スタートする時

1.のボタンを押すと2.のグリーンランプが点灯し室内灯とヒーターが通電され、タイマーが0スタートで始まります。このとき作動する内容は主電源スイッチを「切」又は電源コードを抜かない限り、前回使用した設定内容を記憶してその内容でスタートします。

※(前回、使用した設定が自動温度コントロールで作動していれば、どの温度に設定していたのかを記憶してその内容でスタートします。又ヒーター出力設定で作動していれば、どの出力に設定していたのかを記憶してその内容でスタートします。)

(2) 室内灯とヒーターが通電され使用状態であるのを途中で切りたい時

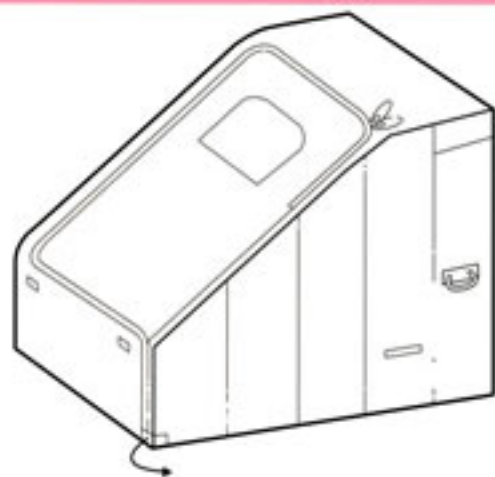
1.の入/切ボタンを押すことで2.のグリーンランプが消えコントローラーの停止ボタンを押したのと同じ状態で室内灯とヒーターの通電が切れます。(主電源だけは「入」の状態で作動待ちとなります。)

リモートスイッチの取り扱いについて

- △注意
1. サンエッセンスの室内に入れないで下さい。
 2. 熱器具や電気カーペット等の温度の高くなる所には置かないで下さい。
 3. 直射日光の当る所には置かないで下さい。
 4. 強い衝撃を与えたり、分解は決してしないで下さい。
 5. 水等の液体がかからない様にして下さい。

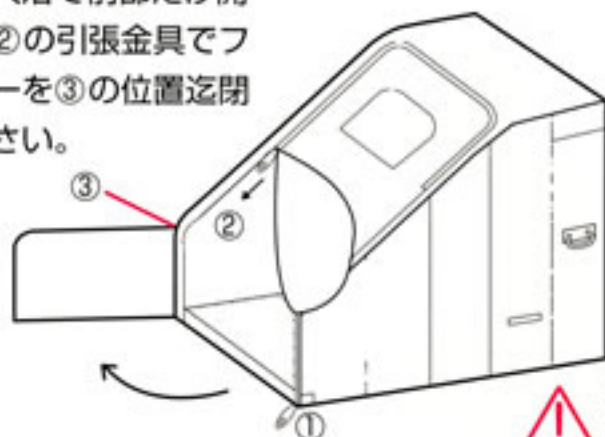


寝姿勢入浴する時の扉ファスナーの開閉は

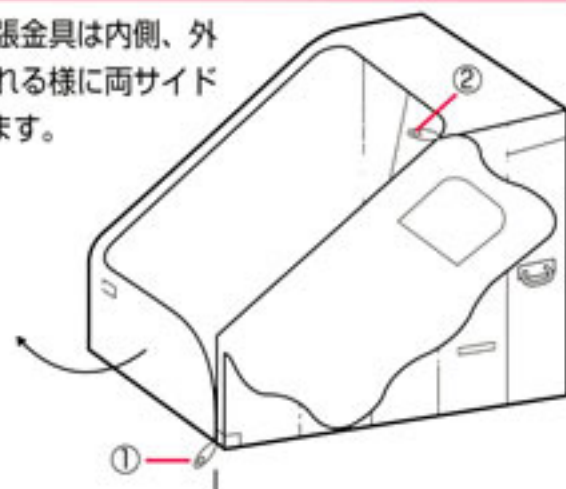


固定バンドをはずして下さい

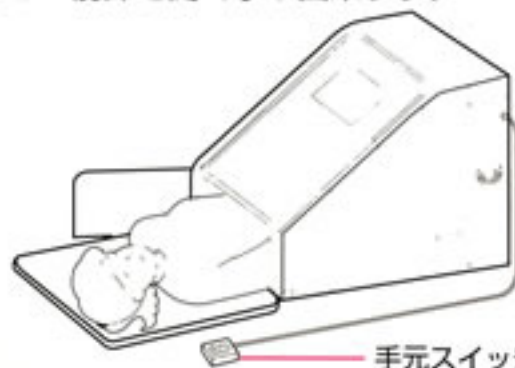
- 寝姿勢入浴で前部だけ開く時は②の引張金具でファスナーを③の位置迄閉めて下さい。



ファスナーの引張金具は内側、外側からも閉められる様に両サイドに2個付いています。



ファスナー引張金具①の片方をはずして下さい前部を開く事が出来ます。



手元スイッチ



座布団などをサンエッセンス室内に入れますとヒーターに接触して火災などの原因になりますから外に置くようにして下さい。

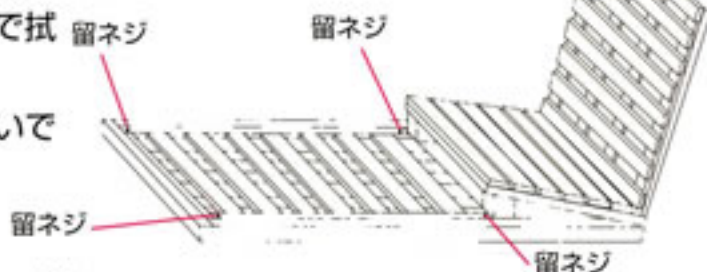
日常のお手入れ

- 本体は、きつく絞ったぞうきんで拭いて下さい。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤で拭いて下さい。
- サウナ内部は湿気たり、臭いがこもる場合があります。その時はファスナーを開いて使用後15分ほど通電して下さい。ヒーターの遠赤外線効果で汗臭気が消散します。



- ときどき床スノコの留めネジを外し、スノコを取り出して、面状ヒーターの汚れをきつく絞ったぞうきんで拭いて下さい。

※ヒーターの上には直接乗らないで下さい。




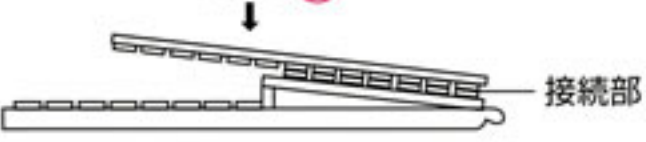


⚠注意

本体と床・背板スノコの分割方法と注意

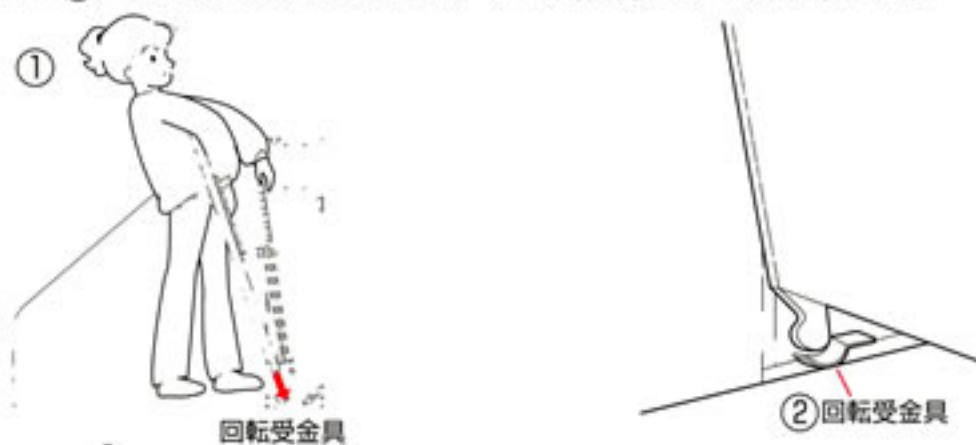
分離方法

(軽量にして運べる様、分割ができます。)

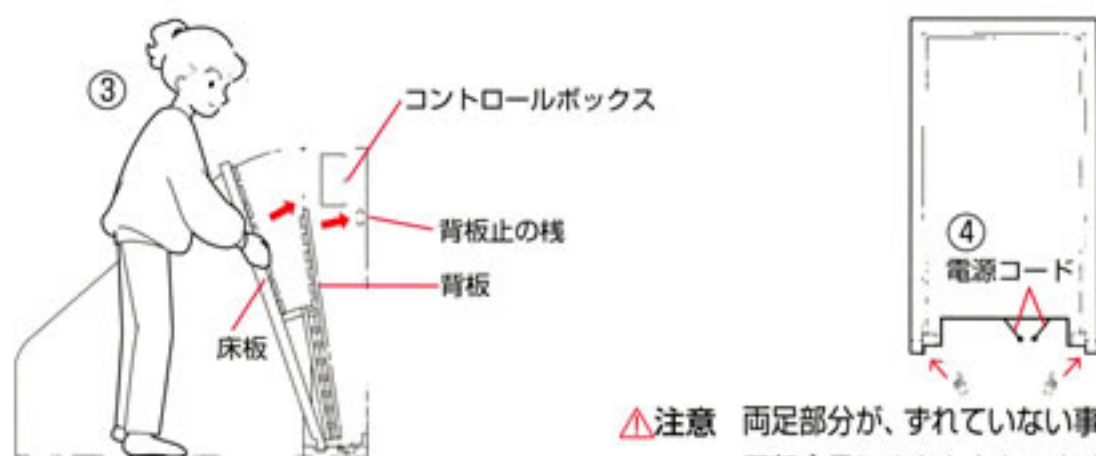
- ①
- 
- 1 始めに床板を図①の様、折り畳む状態に立てて下さい。
- ↓
- 2 床下に電源コード接続コネクタが有りますので、それを抜いて下さい。
- △注意
コネクタを抜くときは図②に有りますロック部分を押しながら引き抜いて下さい。
- 
- ※電源コードを接続したままスノコを引き出すと破損や感電・火災の原因となります
- ↓
- ③
- 
- 3 床板を図③の様に少し斜め角度に開いてから、背板も矢印のように手が届く手前に倒し、床板と重ね合わす様にして下さい。
- 背板は床板の開き具合(傾斜角度)によって、コントロールボックスに当たらないで、コントロールボックスの下をくぐり図③の様に手前に倒すことができます。
- ↓
- ④
- 
- 4 床板と背板を図④の様に、斜め角度に重ね合わせたまま、床板と背板の両方を手で、つかむ様にして、図の矢印方向へ引き上げることで、取り外せます。
- △注意 取り外した床板・背板の矢印部分に乗ったり押したりしないで下さい。破損の原因となり危険です。 荷重
- 
- ※接続部に無理な荷重がかかると破損します。

ジョイント方法

- 1** 床板と背板を折り畳んだ状態で持ち上げて、図①の様に斜めの角度から床板の足部分が本体の②回転受金具の半円部分に、かみ合う様セットして下さい。



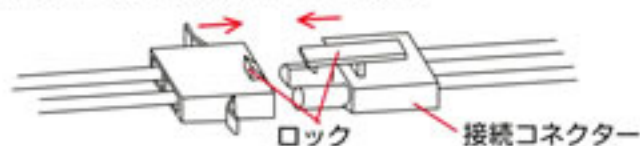
- 2** 回転受け金具に床板の足部分を乗せセットしたら、図③の矢印の様に床板を折り畳んで背板が、コントロールボックスより奥側の背板止の棧に当たる様にして下さい。



△注意 両足部分が、ずれていない事を必ず確認。回転金具にきちんとセットされない状態で使用すると破損の原因となります。

- 3** 床下にある④電源コードの接続コネクタを差し込む。

△注意 ロックのついた側を合わせる様にし、カチッとロック音がする迄、差し込み、かみ合った事を必ず確認して下さい。



※ロックの付いている向きを合わせないと差し込めません。(しっかりかみ合っていないと火災の原因となります。)



△注意 床板を広げる時、背板が手前に倒れたり、背板の上部がコントロールボックスの下を突き上げて破損する事のない様、背板がコントロールボックスより奥側にあり、背板止の棧に当たっている事を確認して床板を広げて下さい。

修理を依頼される前に！

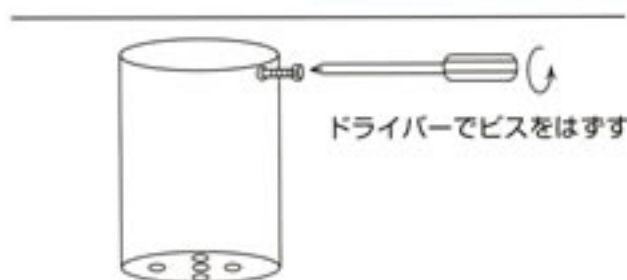
次の症状は故障ではありません。

症 状	原 因	処 置 方 法
主電源スイッチを入れてもグリーン電源表示ランプが点灯しない。	●差し込んでいるコンセントに電源が通じていますか？	●差し込んでいるコンセントに電源が通じている事を確認して下さい。
自動温度コントロールまたはヒーター出力設定のスタートボタンを押しても室内灯が点灯せず、ヒーターも通電しないで温まらない。	●電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ ●主電源スイッチが「入」になっていますか？	●電源プラグを確実にコンセントに差し込んで下さい ●主電源スイッチを「入」にして、グリーン電源表示ランプが点灯するのを確認して下さい。
サンエッセンスの室内温度が上がらない。	●自動温度コントロール作動で温度設定が低温になっていませんか？ ●ヒーター出力設定が200Wや400Wなど低い出力の設定になっていませんか？ ●外気の温度が15℃以下ではありませんか？ ●使用しているコンセントの電圧が低下していて100V以下になっていませんか？	●温度設定を中温から高温に設定して下さい ●ヒーター出力を1200Wにしてください ●外気温が15℃以下の場合はファスナーを締めて20分位の予熱を必要とします ●電圧低下していないコンセントに接続して下さい。
自動温度コントロールの温度表示ランプが点灯しない。	●外気の温度が15℃以下ではありませんか？ ●ファスナーが開いて本機内の温度が上がりにくくなっていませんか？	●外気温が20℃以上の場合グリーンランプは10分位までに点灯しますが、外気温が15℃以下になりますと点灯するまでの時間が長くなります。 ●ファスナーを開いていますと本機内の温度が上がりにくくなるので低温のグリーンランプが点灯するまでの時間が長くなります。又外気温が低くそしてファスナーを開いていると中温のオレンジランプ高温の赤色ランプは点灯しない場合があります。

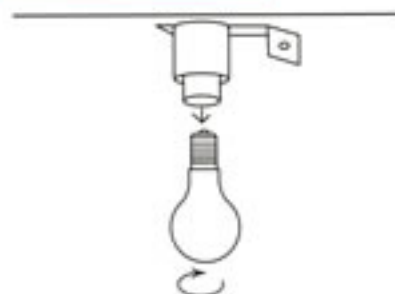
症 状	原 因	処 置 方 法
温度表示ランプが点灯しない。	●使用しているコンセントの電圧が低下していて100V以下になっていませんか？	●電圧低下していないコンセントに接続して下さい。
室内灯がつかない。	●電球がゆるんでいませんか？ ●電球が切れていませんか？	●カバーをはずし電球を締めて下さい。 ●電球を交換して下さい。
ヒーター出力設定で使用していたら急に設定していたヒーター出力がダウンしてしまった。	サンエッセンス室内の温度が上がり過ぎたので安全の為自動的にヒーター出力がダウンした。	一定温度より下がってからヒーター出力を少し低めに設定するか、ファスナーを少し開けて再スタートして下さい。通常運転に戻ります
途中で室内灯が消えヒーターも切れ停止状態になった。 ①タイマーの表示部にE 2と表示されている。 ②タイマーの表示部にE 3と表示されている。	●コントローラー部分が熱くなり過ぎて安全の為停止状態になった。 ●室内温度が熱くなり過ぎて安全の為停止状態になった。	●一定温度に下がってからスタートボタンを押すと通常運転に戻ります。 ●一定温度に下がってからヒーター出力・温度を低めにするかファスナーを少し開いてスタートボタンを押すと通常運転に戻ります。

※タイマーの表示部にE 1と表示された時は本機の故障を意味します。
この場合は販売員又は発売元へご連絡下さい。

室内灯電球のチェック及び交換



締めるときはあまり強く締めないで下さい。
(カバーが破損する場合があります)



電球を回して取り外し
交換して下さい

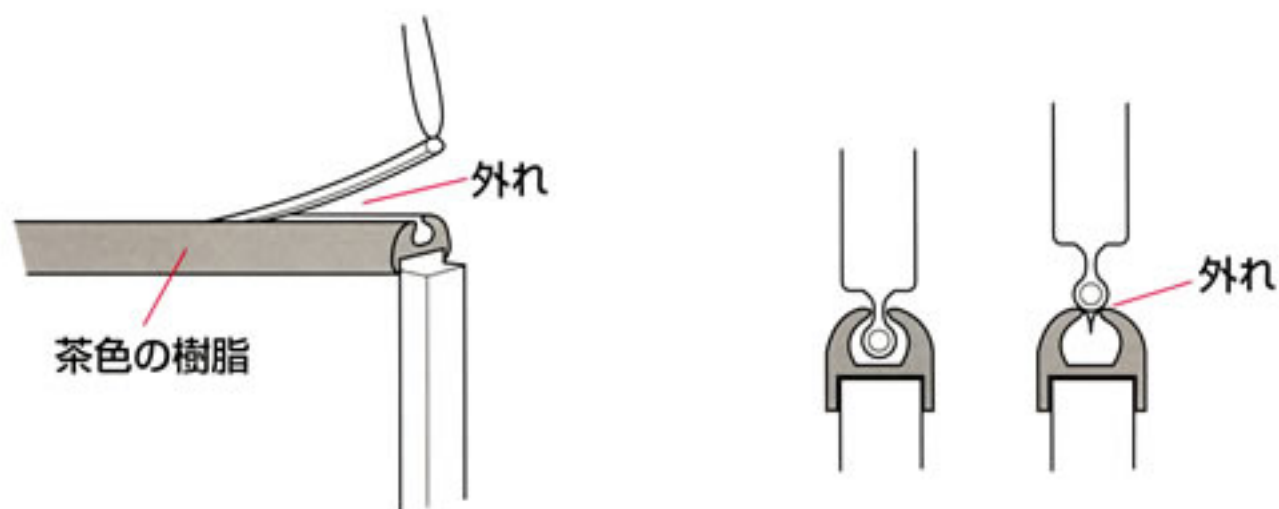
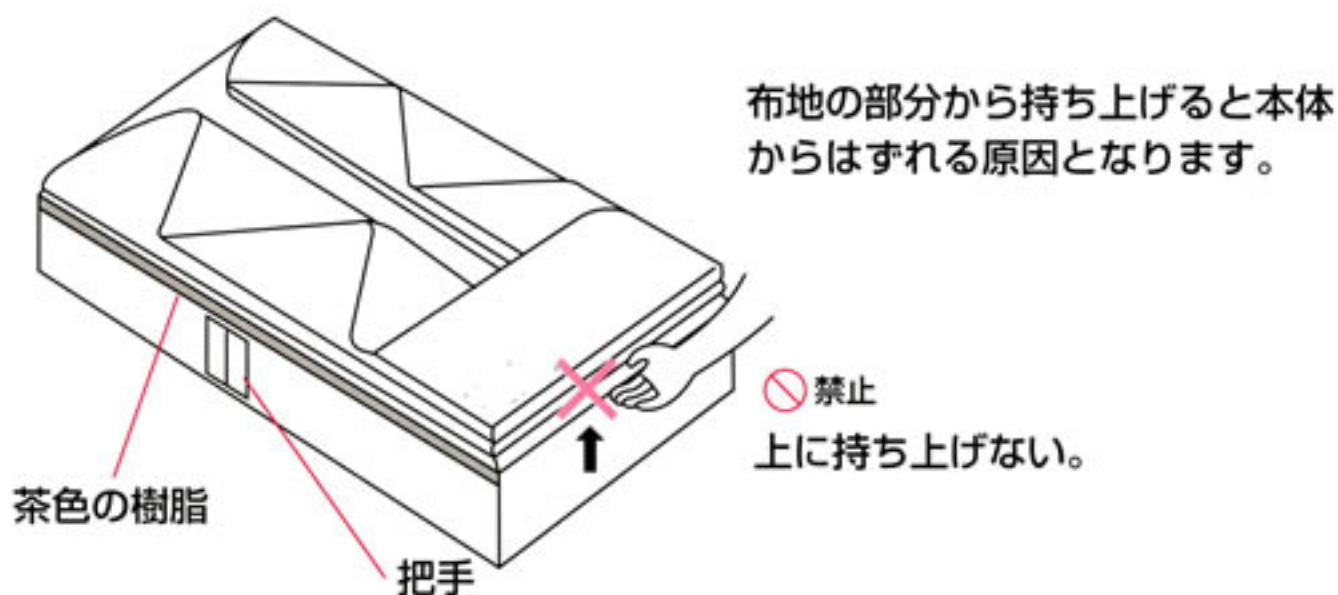
●交換は取り外したのと同じミニタイプ40Wの電球を電気店でお求め下さい。

△注意 40W以上の電球は使用しないで下さい。異常加熱し火災などの原因になります。

本機の運搬について

❗ 本機の移動は必ず取っ手を持ってください。

⚠ 警告 ● 布地部分を無理に引っ張ると本体から外れ配線などが引っ張られ断線など故障や火災の原因となります。



⚠ 注意 ※ 外れた部分の補修は先がとがって布地をいためる事はないドライバーや金属の棒で強く茶色の樹脂の溝に押し込んで直すことも出来ます。但し布地の配線コードが強く引っ張られた場合は安全確認が必要です。

サンエッセンス浴について

服を着たまま汗をかかずに入浴方法です。(遠赤外線を全身に浴びる)

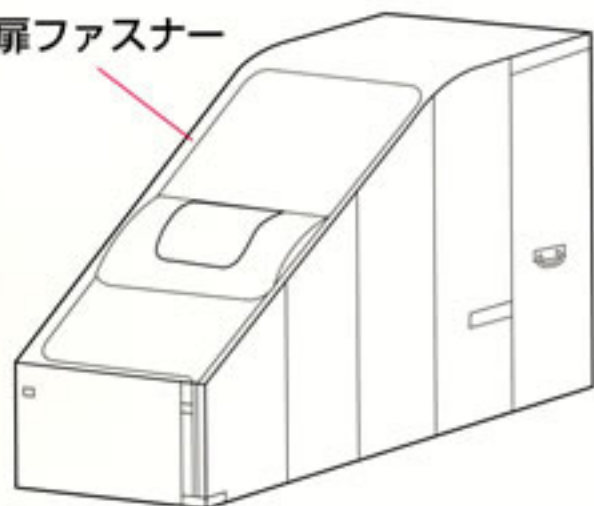
- ① 自動温度コントロールを低温から中温の範囲を目安にセットしてください。
(体調・季節によってセットして下さい。)
- ② 扉ファスナーを閉めて、夏場は約5～10分、冬場は約10～15分(冬場)位を目安に予熱します。

ファスナーを開けたり、外気温が低い場合は、室内温度が上がりにくい為、温度表示ランプの点灯が遅くなったり、点灯しない場合がありますが、通電して約5分位でヒーター部が温まりますと、遠赤外線の放射量は充分となりますので、サンエッセンス浴は可能な状態となります。

- ③ 予熱後、入浴は扉ファスナーを半分から2/3位開けるのが目安ですが、季節や体調によってファスナーを開ける量を調節し、それでも熱く感じたら自動温度コントロールを低温するか、それより更に下げる場合はヒーター出力設定にし、出力を200W・400W・600Wの中から選定し汗が出ない様に調節して入浴します。
- ④ 服を着たままの入浴ですが、厚手の上着、セーターは脱いで薄着になってお入りください。(薄着の方が遠赤外線の体への放射効率が良くなります。又厚着しますと側面のヒーター部に衣類が接触し続ける可能性もあり、火災などの原因となります。)
- ⑤ 入浴の時間は、その人の体調などによっても異なりますが15分～30分位を目安に1日3～5回です。(体が慣れてきてから時間を伸ばす様にして下さい。1回の時間を長くするより回数を多くした方がより効果的です。)
- ⑥ タイマーの経過時間を参考にし、入浴を止める時は停止ボタンを押します。その後続けて使用しない時は主電源スイッチを切ります。



扉ファスナー



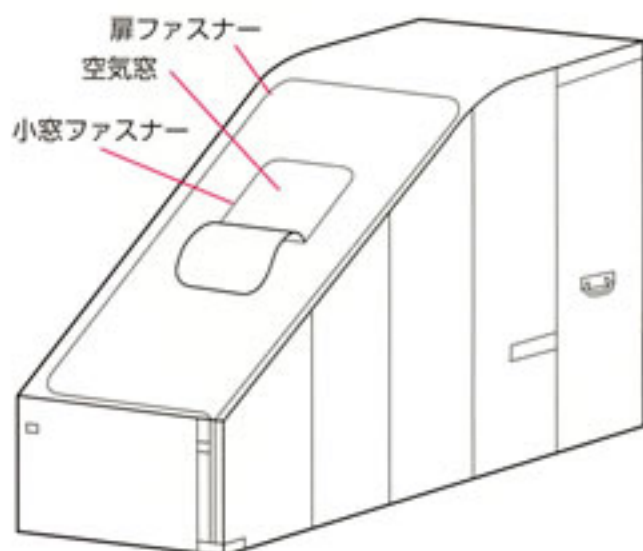
ヒーター出力設定で運転する場合は予熱時は1200Wに設定し、入浴を開始する時は400W～800Wを目安に設定しますが、季節や体調又ファスナーの開閉量に合わせ、好みの出力に調整して下さい。

発汗浴について

- ① 自動温度コントロールを中温から高温の範囲を目安にセットして下さい。(冬場は高温にセット。)
- ② 扉ファスナーを閉めて、約15～20分(夏場)、約20～25分(冬場)位を目安に予熱します。
- ③ 予熱後、入浴は扉ファスナーを閉めて入浴します。熱く感じたら小窓ファスナーを開けるか自動温度コントロールの温度を下げます。
- ④ 入浴の時間は発汗が始まってから5分～10分位が目安ですが。その時の体調や年齢など個人差がありますので決して無理しないで下さい。



- 発汗が始まる迄の時間も体調や年齢などによって変わります。
- 初めて使用する方、体力的に弱い方は体が慣れる迄は入浴時間を少なめにし、発汗が始まって5分位迄にし週1～2回位の入浴にして段々と体調に合わせ時間と回数を調節して下さい。
- 体力的に自信の無い方は発汗浴は止めて、サンエッセンス浴でご使用下さい。
- 発汗浴後は水分補給をして下さい。



ヒーター出力設定で運転する場合は予熱時は1200Wに設定し、入浴を開始する時は600W～1200Wを目安に設定しますが、季節や体調又ファスナーの開閉量によって好みの出力に調整して下さい。

保証とアフターサービス

修理・手入れ・取り扱いなどのご相談は、お買い上げの販売店又は発売元へご連絡下さい。

●保証期間

本製品の保証期間はご購入後2年間です。(お買い上げ後、送られてきます保証書の年月日より2年間は無料修理致します。)

●保証期間内でも次の場合は有料となります。

- ①保証書の提示がない場合。
- ②使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ③お買い上げ後の輸送などで落下等による故障及び損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑤故障の原因が本製品以外(電源、他の機器等)にあって、それを点検修理した場合。

●保証は日本国内においてのみ有効です。

●修理を依頼される前に前頁17～18ページの症状・原因・処置方法をよくお読みの上、直らない時はお買い上げの販売店、発売元へご連絡下さい。

●保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店又は発売元へご連絡下さい。お客様のご要望により有料修理いたします。この場合、送料、修理費が実費請求となります。

●商品購入時の段ボールは捨てないで保管してください。修理などで工場へ送る場合必要となります。

部品の保証期間

本商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

製造開発元

21 株式会社 **トウゴウ**

〒107-0052 東京都港区赤坂6-13-19

オリент赤坂308

TEL 03-3505-1731 FAX 03-3505-0522

商品購入時の梱包材（段ボール）はなるべく捨てないで保管して下さい。
（引っ越しや修理等で発送する時に便利です）